

## 待ち望む中で体験する神の愛

今年の待降節では、イエス・キリストが地上に再臨されるのを待ち望む間に、この世に在って私たちが経験することのできる希望、平安、喜びを見てきました。待ち望む間に神から与えられるそれら全ての祝福は、愛と言う神のご性質ゆえに可能なものです。再びイザヤ書から、待降節最後の説教をしたいと思います。今日の聖書箇所はイザヤ書 54:4-10 です。イザヤ書において 54 節は、旧約聖書の中で最も重要なイエス・キリストの死に関する預言の一つであるイザヤ書 53 章に続く箇所です。

イザヤ書 53 章の 5-6 節は、この章全体を要約するものです。「しかし、彼は私たちの背きのために刺され、私たちの咎のために砕かれたのだ。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、その打ち傷のゆえに、私たちは癒やされた。6 私たちはみな、羊のようにさまよい、それぞれ自分勝手な道に向かって行った。しかし、主は私たちすべての者の咎を彼に負わせた。」この、私たちのすべての罪咎をその身に負ってくださった犠牲の死が、イザヤ書 54 章で神が語られた愛の言葉につながっていきます。それは何と完全な愛であることでしょうか。イザヤ書 54 章の 4-7 節から、神が私たちに示してくださる、その愛の一つ目の側面を見ましょう。「恐れるな。あなたは恥を見ないから。恥じるな。あなたは辱めを受けないから。まことに、あなたは若いときの恥を忘れ、やもめ時代の屈辱を再び思い出すことはない。5 なぜなら、あなたの夫はあなたを造った者、その名は万軍の主。あなたの贖い主はイスラエルの聖なる者、全地の神と呼ばれているからだ。6 主はあなたを、夫に捨てられた、心に悲しみのある女と呼んだが、若いころの妻をどうして見捨てられるだろうか。——あなたの神は仰せられる—— 7 わたしはほんの少しの間、あなたを見捨てたが、大いなるあわれみをもって、あなたを集める。」

神の愛は、結婚の誓いにおける、夫の妻に対する愛のようなものです。つまり、神の愛についてまず言えるのは、それが契約に基づくものであるということです。夫として私たちが愛して下さる神は、その妻を誠実に愛するべきであり、結婚の誓いの中でそれを約束されます。それは夫と妻が互いに交わす契約です。エペソ人への手紙で、その愛は、イエス・キリストがご自分の血であがなわれた教会のために十字架の上で犠牲となられたのと同じように、夫が妻を犠牲的に愛することだと説明されています。エペソ人への手紙 5:25 は「25 夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自分を献げられたように、あなたがたも妻を愛しなさい。」と言っています。イザヤ書 53 章に記されていたことを思い出してください。人々の罪のために砕かれ傷つけられたメシヤ、救い主はもちろんイエスのことです。ですから、人の結婚の契約と、私たちに対する神の契約関係が表すものとのつながりは明らかです。私たち人間の夫や妻がこの理想に沿って、互いへの契約を完璧に守ることはできません。神が完璧な夫としてその民に完全な振る舞いができる理由は、この箇所にある 3 つの事柄に基づいています。1. 神は私たちの創造主であります。5 節に神が私たちが「造った者」とあることに注目してください。皆さんの夫や妻は、この世の誰よりもあなたのことを知っているかもしれませんが。ですが、配偶者や両親、子供たちを含め、他の人がどんなにあなたのことをよく知っていたとしても、神はあなたを造られた方ですから、誰よりもあなたのことをよく知っておられます。詩編 139:13 は「あなたこそ私の内臓を造り 母の胎の内で私を組み立てられた方です。」と言っています。その 2. 神が贖い主、イスラエルの聖なる者と与えてくださったのだから、やもめや独身の者ということで辱められたり恥じたりすることはないといわれます。夫の完璧な行動とは、妻のために犠牲を払うことです。父なる神は私たちが罪から贖うために、究極の犠牲として御子イエス・キリストをお与えになりました。ローマ人への手紙 5:8 には「8 しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます。」とあります。この罪人であった、神の花嫁としての私たちに対する犠牲的な愛という考え方は、3 つ目の点を示しています。神は拒絶された妻のような私たちと和解して下さいます。ここでの表現は、ひと時の間神はイスラエルを拒んだものの、それは彼らが神に従わなかったからであることを明確に示しています。つまり、それは彼らの罪のためでした。今年の初めにホセア書から学んだことを覚えておられるかと思います。ちは皆、生まれながらにして罪人です。神との関係は、神が私たちをお創りになられた後に終わってしまいました。それは私たちのうち誰一人として神

に栄光をもたらすため完全に神に従うということができないからです。ローマ人への手紙 3:23 は「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず」と言っています。この罪が、私たちと創造主との間に日本語で言うずれ、断絶を生み出します。神は私たちの従順と賛美に値するお方であるのに、私たちは不貞の配偶者のように、神に対して靈的な姦淫を犯してしまいました。ですが、私たちが不誠実であったとしても、ご自身の栄光のために救い、贖うと選ばれた人々との契約を神は必ず守ってくださいます。ですから、私たちのために死に、その罪を償うためにイエス・キリストを遣わされたのです。だからこそ、神の民に対する神の契約的な愛を表すものとして結婚の結びつきというのは唯一無二なるものなのです。だからこそ、結婚という約束の契約のみにおいて表現されるはずの性的な結びつきを、その契約関係の外に持つことは、神の民に対する神の契約的な愛の姿を歪め、混乱させる罪深く反抗的な行為なのです。ですが、この箇所を読み進めていくと、神の愛が契約的であることに基づく 2 つ目の側面が見えてきます。神の愛は永遠です。イザヤ書 54 章 8-9 節を見て下さい。「8 怒りがあふれて、少しの間、わたしは、顔をあなたから隠したが、永遠の真実の愛をもって、あなたをあわれむ。——あなたを贖う方、主は言われる。9 これは、わたしにはノアの日のようだ。ノアの洪水が、再び地にやって来ることはない、わたしは誓った。そのように、わたしはあなたを怒らず、あなたを責めない」と、わたしは誓う。」イスラエルの民の罪は神の義なる怒りを買うこととなり、神は民に背を向けられました。神は民に背を向け、怒りゆえに地上から彼らを追い出すことを、ノアが洪水を体験したことになぞらえました。ノアの時代、神がノアとその家族以外のすべての人を絶滅させる大洪水をもたらされるほどに世界の罪は大きくなってしまいました。どちらの場合も、罪に対する怒りと、一握りの者を救うことによって示される愛とに表されているように、神はその聖さを保たれました。すべての人が罰を受けましたが、神はノアとその家族を救い、預言の中においてはやがて約束の地に戻る事となる少数のイスラエル人を救われました。創造の御業に示された神の愛のご性質は、ノアの時代に至るまでに変わってしまったわけではありませんでしたが、神はその聖さゆえに世の罪を罰せずにはおられませんでしたが、また、イスラエルの民に対する神の愛のご性質もイザヤの時代まで変わりませんでした。神の聖さゆえに罪を罰せられました。ノアとその家族が救われたのも、神がイスラエルに救いを約束されているのも、神の愛が尽きることはないからです。8 節はそれが「永遠だ」と言っています。それは神の最も素晴らしい約束の一つであり、哀歌 3:22-23 に詳しく述べられているものです。「主の恵みを。」実に、私たちは滅び失せなかった。主のあわれみが尽きないからだ。23 それは朝ごとに新しい。「あなたの真実は偉大です。」神の愛は結婚の約束のようなものだとすることを思い出してください。

残念なことに私たちはその約束を投げ出してしまいがちです。「富める時も、貧しい時も、病める時も、健やかなる時も、死が二人を分かちまで」ではなく、私たちの愛は、もう愛していると感じることができなくなるまでです。あるいは夫や妻が自分の欲求を満たしてくれている限りはとか、自分に罪を犯さない限りはといった条件をつけます。

そうしたことを望み、期待すべきでしょうか。もちろんです。ですが、罪人である者同士が結婚することも事実です。それは、「死が二人を分かちまで」結婚生活を守るためには赦すことを学ぶ必要があるということの意味します。私たちに対する神の愛とはこのようなものです。私たちは不実な妻ですが、神は赦してくださいます。繰り返し失敗したとしても、イエス・キリストのうちに示してくださる恵みの契約に見切りをつけられることは決してありません。神の私たちに對する、この契約の愛には終わりがなく、また変わることもありません。神の愛が変わらないということは、その愛に終わりが無いということに含まれるともいえるかもしれませんが、私たちに對する契約的な愛の少し違った面を示しているのではないかと思います。10 節にそれを見ることが出来ます。「10 たとえ山が移り、丘が動いても、わたしの真実の愛はあなたから移らず、わたしの平和の契約は動かない。——あなたをあわれむ方、主は言われる。」山というのはあまり変わるものではありません。地図に山を記し、その存在を何世紀も遡ることができます。富士山という名前さえ、西暦 713 年の記録まで遡ることができます。ですが、地球上で山というのは不変で恒久的なものと思えるかもしれませんが、実際のところはこの地球上のほとんどの物と同じく、常に変化しています。例えば、富士山は紀元前 286 年に地震によってできたといわれています。現代科学では紀元前 286 年という時については同意できていないものの、富士山は過去

に起こった3回の地震によって形成されたと考えられています。つまり、富士山のように不変のものであっても実際には変化しているのです。噴火が起これば登山者や周辺地域に深刻な影響を及ぼす恐れがあることから、現在でもその火山活動は24時間体制で監視されています。たとえ何百年、何千年かかったとしても、地上のあらゆるものは変化します。ですが、ご自分の民と結ばれる愛の契約は、たとえそれほどの時間が経ったとしても決して変わることはないと言はれ、神は約束して下さいます。これは私たちにとって素晴らしい知らせです。私たちはイエスの再臨を待ち望んでいます。それこそが待降節の意義なのです。創世記3:15で初めて救い主の到来が示唆されてからノアの時代まで約2000年です。そして、ノアからイエスの降誕までが更に2000年。今私たちは2000年の間イエスの再臨を待ち続けています。そしてその間、神のご自分の民に対する愛は変わりませんでした。アダムとエバから、ノア、アブラハム、イスラエル民族の一員であった神の民、その民に加わった神を礼拝する異邦人、そして現在キリストの体に結ばれている神の民に至るまで、神の尽きることのない愛は変わることがありません。契約的であり、永遠であり、不変であるという3つの神の愛の側面は、キリストに従う者である私たちの内にあることを見てきた希望、平安、喜びの土台であります。罪があるにも関わらず、私たちを救うことを選ばれた神を動かしたのは、神の愛に他ありません。エペソ人への手紙1:4-5は神が「世界の基が据えられる前から、この方において私たちを選び、御前に聖なる、傷のない者にしようとされたのです。5 神は、みこころの良しとするところにしたがって、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めおられ」と言っています。もし神が愛ゆえに私たちを選んでくださるのであれば、その愛の確かさから、神がその選びを撤回することはないのですから、私たちが救いを失うことがないという意味であり、この世において平安と喜びをもたらす希望を得ることができるということです。この世で何が起ころうとも、私たちが頼ることのできる確かなものとして神の愛を挙げているのはそのためです。ローマ人への手紙8:38-39は「私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いたちも、支配者たちも、今あるものも、後に来るものも、力あるものも、39 高いところにあるものも、深いところにあるものも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。」と言っています。もしあなたが自分の罪を悔い改め、イエス・キリストを救い主として受け入れておられないなら、神が愛を持って手を差し伸べておられることをお伝えしたいと思います。ヨハネの福音書3:16にはこうあります。「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」神の御子ご自身が肉体をもち、人となり、十字架にかかって、あなたの代わりに命を捧げてくださったのです。それは神があなたを愛しておられるからです。イエス・キリストを知る方たちは、神が私たちのことを愛し続けてくださっていることを知ってください。神の愛の腕の中からこぼれ落ちてしまうほど神から遠ざかることは決してありません。神があなたをご自分の子として受け入れてくださらなくなるほどに深い罪を犯すことも、神をひどく悲しませることも決してありません。あなたがイエスを救い主であり主として心から受け入れ、従ったのなら、神はどんなに不従順な神の子どもであっても、打ちのめされた神の子どもであっても、あなたをご自分の子どもとして受け入れてくださり御父であることを決してやめることはありません。あなたを愛し、待つ時が終わりイエスと対面するときまで約束を守ってくださる神がおられるから赦しがあり、癒しがあります。待降節最後の日曜日を終えるに際し、主の晩餐にともに与ることほどふさわしいことはありません。神の愛を世に示すため飼葉桶に生まれた赤ちゃんは、一つの目的のために来られました。「多くの人のための贖いの代価として、自分のいのちを与えるため(マタイ20:28)」に来られたのです。飼葉桶を覚えるようにと命じられたことはありませんが、救い主の血が私たちの罪のために流された十字架を覚えるようにと私たちは命じられています。罪を悔い改め、イエス・キリストを主であり救い主として受け入れ、イエスに従って洗礼を受けておられる方は、共に主の晩餐に与ってください。まだイエスに従っておられない方、洗礼を受けておられない方は参加をお控えいただければと思います。お子様がおられる方は、準備のできていない子どもを主の晩餐に参加させないことが聖餐式の大切さを教える術となります。

私が祈った後、執事が会堂の四隅でパンとジュースを配りますので、ご一緒に主の晩餐に与りましょう。祈ります。

## Isaiah 54:4-10 Experiencing God's Love in the Wait

So far this Advent season, we have seen the hope, peace and joy we can experience in this life during our wait for the return of Jesus Christ to this earth. And all of those blessings from God in the wait are made possible by one of his overarching attributes – love. Once again, we are back in the book of Isaiah for this last regular sermon of the Advent season. Our passage for today is Isaiah 54:4-10. In the context of Isaiah, chapter 54 follows one of the most significant prophecies of Jesus Christ's death found anywhere in the Old Testament in Isaiah 53. Verse 5-6 of Isaiah 53 summarizes that chapter, [But he was pierced for our transgressions; he was crushed for our iniquities; upon him was the chastisement that brought us peace, and with his wounds we are healed. 6 All we like sheep have gone astray; we have turned—everyone—to his own way; and the Lord has laid on him the iniquity of us all...](#) So this sacrificial death that took all of our sin or iniquity on himself leads to the words of love spoken by God in Isaiah 54. And what a complete love it is! Let's read verses 4-7 of Isaiah 54 and see the first aspect of this love that God shows us ["Fear not, for you will not be ashamed; be not confounded, for you will not be disgraced; for you will forget the shame of your youth, and the reproach of your widowhood you will remember no more. 5 For your Maker is your husband, the Lord of hosts is his name; and the Holy One of Israel is your Redeemer, the God of the whole earth he is called. 6 For the Lord has called you like a wife deserted and grieved in spirit, like a wife of youth when she is cast off, says your God. 7 For a brief moment I deserted you, but with great compassion I will gather you.](#)

The picture of God's love is as a husband to a wife in the Covenant of marriage. So the first thing to say about God's love is that it is Covenantal. God is the one who loves us as a husband is supposed to faithfully love his wife and promises to do that in marriage vows. This is a covenant that husbands and wives make to each other. In Ephesians, that love is described as a husband sacrificially loving his wife in the same way as Jesus Christ sacrificed himself on the cross for the church that he purchased with his blood. [Ephesians 5:25 says, 25 Husbands, love your wives, just as Christ loved the church and gave himself up for her.](#) Remember what has just been described in Isaiah 53. A Messiah or Savior who was crushed and wounded for the sins of people, which is Jesus of course. So the connection between the human marriage covenant and the picture of God's covenant relationship to us is clear. Now, none of us as human husbands or wives for that matter, ever live up to this ideal and perfectly keep our covenant to each other, but God does. And why God can act perfectly to his people as the perfect husband is based on three things in these verses. 1. He is our creator. Notice verse 5 says he is our ["maker."](#) Your husband or wife may and probably should know you better than anyone else on earth. But no matter how well another human knows you including your spouse, your parents or your children, God knows you infinitely better, since he is the one who created you. [Psalm 139:13 says, For you created my inmost being; you knit me together in my mother's womb.](#) Number 2. God tells them that they will not be disgraced or bear any shame in their status as widowed and single because God has provided a Redeemer, the Holy one of Israel. Remember, the perfect behavior of a husband is sacrifice for the wife. God the Father provided Jesus Christ, God the Son in the ultimate sacrifice to pay for or redeem us from our sin. [Romans 5:8 says, 8 But God demonstrates his own love for us in this: While we were still sinners, Christ died for us.](#) This idea that God's sacrificial love for us as his bride happened while we were sinners, brings up the 3<sup>rd</sup> point. God reconciles with us as with a rejected wife. Now the wording here is clearly God saying that he rejected Israel for a time, but that was due to the failure on their

part to obey him. In other words, it was due to their sin. This is where our study earlier this year in the book of Hosea should be in mind. Yes, God rejected the people, but it was because like us, they had committed spiritual adultery against God. All of us are born sinners. Our relationship with God ended after his creation of us because none of us can truly obey him fully in order to bring him glory. [Romans 3:23](#) says, [For all have sinned and fall short of the glory of God](#). This sin has created a break or a ZURE in Japanese between us and our Creator. He deserves our obedience and worship, but instead like an unfaithful spouse, we have committed spiritual adultery against God. But God is faithful to keep his covenant with those whom he has chosen to save or redeem for his glory, even when we have not been faithful. So, he sent Jesus Christ to pay for that sin by dying for us. That is why the marriage bond is unique in its expression of God's covenantal love for his people. It's why when we take the sexual union that is supposed to be expressed only in the committed covenant of marriage and go outside that covenant, it is a sinful act of rebellion that distorts and messes up the picture of God's covenant love for his people.

As we continue with this passage, though, we see a second aspect of God's love that results from it being covenantal. **God's love is everlasting.** Look at verses 8-9 here in [Isaiah 54](#). [<sup>8</sup>In overflowing anger for a moment I hid my face from you, but with everlasting love I will have compassion on you,](#) says the Lord, your Redeemer. [<sup>9</sup>"This is like the days of Noah to me: as I swore that the waters of Noah should no more go over the earth, so I have sworn that I will not be angry with you, and will not rebuke you.](#) The people of Israel's sin had raised the righteous anger of their God so that he turned away from them. He pictured this turning away and driving them from the land in his wrath in the same way that Noah experienced the flood. The sin in the world had progressed to such a degree in Noah's time that God brought a worldwide flood that wiped out everyone except Noah and his family. In both cases, God perfectly balanced his holiness, evidenced by his wrath against sin, with his love shown by saving a remnant. Everyone was punished but God preserved Noah and his family, and in the prophets, he preserved a small number of Israelites who would eventually be returned to the land. God's original disposition of love for his creation had not changed by the time of Noah, but his holiness demanded he punish the sin of the world. And God's disposition of love for the people of Israel had not changed by the time of Isaiah, but his holiness demanded he punish sin. The reason Noah and his family were saved and that God is promising deliverance for Israel is because God's love is unending. Verse 8 calls it **"everlasting."** This is one of God's greatest promises, which is expanded on in [Lamentations 3:22-23](#) [The steadfast love of the Lord never ceases; his mercies never come to an end; 23 they are new every morning; great is your faithfulness.](#) Remember that God's love pictures the covenant of marriage. Unfortunately, there are too many times we as humans give up on that covenant. Instead of our love being "for richer, for poorer, in sickness and in health, till death do us part," it becomes until I feel like I don't love my spouse anymore. Or we put conditions on it, like as long as my spouse fulfills my needs or never sins against me. Should we hope for that and expect that? Of course, but the fact is two sinners get married, and that means we need to learn to forgive in order to actually make it "till death do us part." This is what God's love is like for us. We are the unfaithful wife, and yet God forgives. He never gives up on that covenant of grace he shows us in Jesus Christ, even though we fail on our end time after time.

And this **Covenantal love that God loves us with, that will never end, will also never change.** The fact that God's love is unchanging could be part of it never ending, but I do think it is a slightly different aspect of God's covenantal love towards us. Look at verse 10 where we see this aspect of God's love. **<sup>10</sup>For the mountains may depart and the hills be removed, but my steadfast love shall not depart from you, and my covenant of peace shall not be removed," says the Lord, who has compassion on you.** A mountain is something that is pretty unchanging. We mark them on maps, and can trace their existence back centuries. Even the name for Mount Fuji is actually recorded as far back as 713AD. But while it may seem that mountains are unchanging permanent features of our earth, the truth is that they are constantly changing just like most things in this earth. Mount Fuji for example is traditionally said to have been formed in 286BC by an earthquake. Modern science while not agreeing on the 286BC date also believes that Fuji is formed from as many as 3 separate earthquakes that have taken place in history. So, even for something as unchanging as Mount Fuji, it actually does change. Even now, it is monitored 24 hours a day for volcanic activity since any eruption would potentially have serious consequences for climbers and the surrounding areas. Everything on earth changes, even if it takes hundreds or thousands of years, change happens. But God promises that his covenant of love that he makes with his people will never change even given that much time. This is great news for us! We are waiting for Jesus to return. That is the entire point of Advent. From Genesis 3:15 where the first hint at a coming Savior is given to the time of Noah was about 2000 years. Then from Noah to the first Advent and birth of Jesus was 2000 more years. Now we have been waiting on Jesus's return for 2000 years. And all during that time, God's love for his people has not changed. From Adam and Eve, to Noah, to Abraham, to the people of God who were part of the nation of Israel and the gentiles who joined them in the worship of God, to the people of God who are now united in the Body of Christ, God's unending love has never changed.

These three aspects of God's love, that it is covenantal, everlasting and unchanging really provides the foundation for the hope, peace, and joy that we have previously seen is ours, as followers of Christ. It was God's love that moves him even in the face of our sin to choose to save any of us. **Ephesians 1:4-5 says that God "...chose us in him before the foundation of the world, that we should be holy and blameless before him. In love <sup>5</sup> he predestined us for adoption to himself as sons through Jesus Christ, according to the purpose of his will...** If God chooses us out of his love, the certainty of that love that he loves us with means that he will never unchoose us, we will never lose our salvation, and will have hope that brings peace and joy in this life. It is why Paul points to God's love as the one certain thing we can rely on in this world no matter what else happens. **Romans 8:38-39 says, I am sure that neither death nor life, nor angels nor rulers, nor things present nor things to come, nor powers, 39 nor height nor depth, nor anything else in all creation, will be able to separate us from the love of God in Christ Jesus our Lord.**

If you are here today, and have never repented of your sin and accepted Jesus Christ as your savior, then I want to tell you today that God is reaching out with love to you. **John 3:16 says, 16 "For God so loved the world, that he gave his only Son, that whoever believes in him should not perish but have eternal life.** The Son of God himself became flesh, became human and went to a cross, where he gave his life in your place, because God so loved you! And for those of us who know Jesus Christ, know this, God still so loves us! You will never fall so far away from God that you are out of his loving embrace.

You will never sin so deeply and grieve him so badly that he will reject you as his child. If you truly accept and follow Jesus as your Savior and Lord, then God will never stop being your Father who accepts you as his child, even a disobedient or beat up child of God. There is forgiveness and healing because there is a God who loves you and will not fail to keep that promise until our wait is over and we see Jesus face to face. There is no more fitting way to end our Sundays of Advent focus than by partaking together in the Lord's Supper. That baby born in a manger to demonstrate God's love for the world, came for one purpose. He came [to give his life as a ransom for many \(Matthew 20:28\)](#)... We are never commanded to remember a manger, but we are told to remember a cross where our Savior's blood was shed for our sins. If you have repented of your sins and accepted Jesus Christ as your Lord and Savior, and been baptized in obedience to him, then I invite you to join us in this Lord's Supper meal. If you are not yet a follower of Christ or have not been baptized, I would ask you to refrain from taking the elements. For parents, we teach our children the importance of this meal by not allowing them to participate if they are not ready. After I pray, the Deacons will serve the elements from the 4 corners of the sanctuary, then we will eat together and drink together. Let's pray.